

めるへん

社協発



発行 社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会 TEL72-5513 FAX72-2816
大分県玖珠郡玖珠町大字岩室24番地の1 (くすまち総合福祉センター内)

おじいちゃんおばあちゃんになってみた



玖珠町社協では、地域共生社会の実現に向けて、福祉教育に取り組んでいます。

北山田小学校3年生の皆さんは、高齢者とふれあう授業で高齢者施設を訪問しており、その事前授業として、高齢者体験キットを使って身体の動きや気持ちに寄り添う体験学習を行いました。

重りをつけて、腰を曲げ、杖をつき段差があるところを歩く。小さな物をつかむ。新聞を読む。前後からと横からの声かけで聴こえ方の違いを感じる。更に今年は車椅子の乗降介助にもチャレンジ。

体験後、児童から「足や腰が動かしにくいことがよく分かった、優しい声かけをしたい」「小さな字や黄色の字は見えにくいことがわかった」「小さいものが掴みにくいしペットボトルのキャップが開けにくかった」等多くの感想が発表されました。車椅子体験をしたことで「エレベーターが無いところの段差はどうして移動するのですか」との質問もあり、「そんな時は、協力者を探して複数人で車椅子を持ち上げて移動の手助けをします。」と伝えました。

今日の体験を通して「高齢者だけではなく、困っている人を見かけたら優しく声をかけ、手助けして下さい」と伝えてこの日の授業を終わりました。

身近な地域の気になることを、身近なみんなで解決していこうと
地域の福祉活動が広がっています！！

【北山田地区】

西部地区の旧鏡小学校区で安心・安全な地域づくりに向け、地域福祉活動推進会議が開催されました。「祭りごと中止となり何事も簡素化し、日頃の助け合いが難しくなっている。自治区の再編、合併を考える時期ではないか」「防災士と消防団の連携はどうなっているのか」等現状の自治会活動や環境整備、防災活動など気になることについて活発な意見が出され、今後も話し合いを継続し、人づくり、組織づくり等地域でできることは、みんなで取り組んでいこうと“思いをひとつ”にしました。



【森地区】

森地区の防災士会・自治委員会・民生委員会が避難所運営訓練のための合同会議で、災害時の避難行動や要援護者避難支援にも活かせる「支えあいマップ作り」について説明を聞きました。①

本年4月23日に発足した有償サービス「森地区くらしのサポートセンター」が、5月中旬から活動を開始しています。庭の除草作業・庭木の剪定・布団干し・換気扇掃除・風呂トイレ掃除・毎週のごみ捨て等の依頼に応じています。② 外出付き添い支援活動については、玖珠警察署交通課長の交通安全講話を聴き、7月下旬より活動を開始しました。③

活動していただける方を募集しています。詳しくは、森自治会館内くらしのサポートセンター事務局までご連絡ください。 連絡先 TEL72-1093



「活動を始めた頃は子どもが80人ぐらい通っていたけど、今は半分以下になってしまっただけで、子どもたちも元気をもらっています。体が続く限りは活動を続けようと思います。」と優しい笑顔で答えてくださいました。これから益々のご活躍をお祈り申し上げます。

子どもたちから感謝の手紙や花束を貰ったり、体調を崩して入院された時には、「早く良くなつて」と寄せ書きや手紙をいただいたそうです。

平成16年に民生委員児童委員に就任し、その活動の一環として通学路での見守り活動を始められ、令和元年に退任された後も、毎朝午前7時半から小一時間程、雨の日も雪の日も凍りつく寒い日も欠かさず声掛け、見守りをされています。

区の佐々木加壽己さん（78才）です。

今回ご紹介するのは、長年児童の登校の見守り活動をしている玖珠地区の佐々木加壽己さん（78才）です。



今回のキラッと☆



栄養について学びました



7月27日（火）森自治会館で開催された介護予防サポータースキルアップ講座に、24名が受講しました。前半は講師の大分県栄養士会濱田美紀さんより、栄養についてご自身が知識を深めることと、仲間に伝えていく上での、話のポイントや話し方の”こつ”について学びました。

後半は週一体操教室における「めじろん体操の実技」や「体力測定方法」を確認し、グループごとに体力測定を行いました。

平成28年から始めたこの養成講座に、現在では106名の方が受講され、ボランティアとして実践している63名の方が地域で活躍していただいています。



令和3年度介護予防サポーター 養成講座のご案内

受講生募集

～広げよう！地域でできる介護予防～、地域で“自分らしく”暮らすため、支え合いながら健康づくり（介護予防）に取り組めるようサポーター養成講座を開催します。

日 時：11月22日（月）午後1時30分～4時30分
12月 6日（月）午後1時30分～4時30分

開催場所：玖珠自治会館 集会室

講義内容：地域の介護予防活動支援マニュアル（口腔ケア・栄養・運動・認知症・聞こえ）を使った講義と実技

持参物：上履き・筆記用具・水分補給用飲料水

受講申込：玖珠町社会福祉協議会 TEL 72-5513（担当）地域福祉推進部 衛藤

是非、この機会に参加してみませんか。これまでに受講されて活動していない方も受講できます。



お知らせ

10月から4月の
営業時間は

岩室温泉“かたらいの湯”の営業時間が変わります。

平日：午後1時～午後6時

土日：午前9時～午後6時

検温・消毒等感染予防対策を徹底しておりますので
安心してご利用ください。



募っているのは やさしさです。そのやさしさの行き先は玖珠町です。

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金

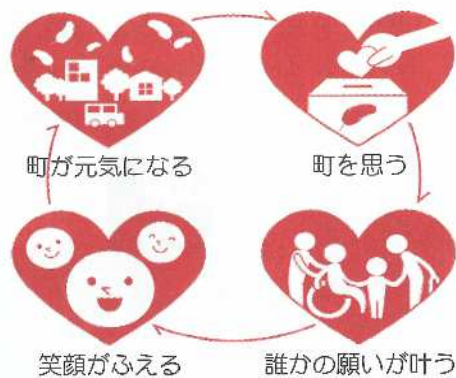


10月1日から全国一斉に行われる赤い羽根共同募金は、「困ったときはお互いさま」の精神から始まった募金活動です。

昨年度、大分県共同募金会より、一般配分金として

1,479,000円をいただき、次のように使われました。

- ・住民全般に対する事業（自治コミュニティ福祉活動事業助成・健康福祉推進事業支援・地域福祉活動計画事業・母子寡婦福祉会助成他）…842,000円
- ・高齢者支援（老人クラブ連合会助成）…236,000円
- ・障がい者支援（障がい者団体助成・身体障害者協議会助成）…161,000円
- ・ボランティア支援（ボランティア連絡会助成・災害ボランティア関係助成・災害ボランティアセンター備品整備）…240,000円



助成団体 **母子寡婦福祉会** 代表 **大久保 豊子さん**

母子寡婦福祉会は、芋掘りやバス遠足など、会員同士の交流を図る活動やイベントへの参加、機関庫の草取りなどのボランティア活動や研修会、ひとり親への相談支援を行っており、その活動に助成金を使わせていただいております。

「コロナ禍で活動が思うように出来ませんが、ボランティア活動等を通じて支援や活動を続けていこうと思っています。」

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた特例貸付について

大分県社会福祉協議会では、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等より、一時的に収入が減少し生活資金にお悩みの世帯を対象に、緊急小口等特例貸付を実施しています。

受付期間が、**令和3年11月末日**まで延長となりました。

玖珠町社会福祉協議会において、具体的な内容のご確認やご相談、申請手続きを受け付けています。

なお、事前予約優先で行っておりますので、下記まで必ずご連絡ください。

玖珠町社会福祉協議会 ☎72-5001
受付時間 平日9:00~17:00

こんなことで困っていませんか？

1人で悩まずにまずはご相談ください

相談無料

秘密厳守

- 仕事を探しているがなかなかみつからない
- 家賃や電気、ガス代が払えない
- 病院に行きたいけどお金がない
- 引きこもりの家族が心配



一緒に考え、
解決に向けて
のお手伝いを
します。

相談受付時間

月曜から金曜日

午前9:00~午後5:00

お問合せ先：玖珠町社会福祉協議会自立支援相談窓口

☎72-5001 E-mail:seikatsukonkyu@kusushakyo.or.jp



介護保険のお話 27



介護が必要になる前に！

円滑に無理なく介護するために大切なことは、家族の話し合いです。最初に確認することは**本人の希望**です。どこでどんな介護を誰にして欲しいか、考えを聞きます。このとき重要なのは、**誰が中心**となって介護を行うかを決めることです。

とはいえ、誰かにまかせきりにするのはよくありません。

話し合いとともに、最寄りの地域包括支援センターなどに、介護保険の利用について相談を始めましょう。こうした話し合いは、できれば本人が元気なうちに相談しておく、いざというとき、スムーズに対処できます。



玖珠町では、介護保険とは別にさまざまな高齢者を支援するサービスを行っています。外出支援サービス・給食サービス・緊急通報システム・住宅改修費の助成などがあります。その他にも、社会福祉協議会・シルバー人材センター・NPO法人やボランティア団体などが独自の高齢者支援サービスを実施しています。こうしたサービスは、玖珠町地域包括支援センターにお尋ねください。

お問合せ 玖珠町地域包括支援センター ☎72-7154

「しゅーいち」元気アップ広場

今回ご紹介する「しゅーいち」は「週1体操上田」の皆さんです。

現在の活動会員は12〜13名程で、毎月月曜日午前11時から上田公民館で、めじろん元気アップ体操と、ラジオ体操をした後に、懐メロのリズムに合わせてリズム体操を、4〜5曲取り組んでいます。

参加者の皆さんからは「今までは近所に住んでいても、顔を合わせる機会がなかったけれど、週1体操に取り組むようになってからは、みんなが集まることのできとても楽しみなった」と喜ばれています。

上田地区周辺の方であればどなたでも参加できます。

玖珠町では、週に1回集まって体操を行うことを推奨しています。事前説明会も随時行っていますので、お気軽にお問合せください。

自分の健康と地域の元気を目指して「しゅーいち」を始めませんか？

「しゅーいち」についてのお問合せ

玖珠町社会福祉協議会 ☎(72) 5513
玖珠町地域包括支援センター ☎(72) 7154



今回ご紹介するサロンは、八幡地区の山下クラブサロンです。老人クラブの会員20名が老人クラブ活動に加えサロンや週一体操教室にも取り組んでいます。山下クラブは、町内でも珍しく自分達の活動拠点となる建物を持っています。敷地内にはゲートボール場もあり、自由に活動が出来ます。男性の参加者は現役農業従事者も多いのですが、忙しい農繁期でも週一体操教室は行っています。

サロン立ち上げ当初は月一回の開催も大変でしたが、八幡地区サロンサポーターの支援もあり、今ではコロナ禍でも毎週集まって楽しんでいきます。

講師を依頼しての学習会、サロンサポーターの支援によるゲームや体操、大正琴の会を招いて会員が作成したクラブの歌等を歌い、活動後のお茶のみも楽しみの一つだそうです。女性は別の日に折紙教室を開催しています。

これからも元気に活動を楽しんでください。



ボランティア連絡会通信

食品募集します！

ボランティア連絡会では、フードバンク活動(余っている食べ物を困っている人に！もったいないをありがとうに)支援に取り組んでいます。今回フードドライブします。

(ご家庭で眠っている食品の寄付を募集)

～ ご寄贈いただきたい食品例 ～

- ・穀類(米、麺類、小麦粉等)
- ・保存食品(缶詰、瓶詰)
- ・インスタント食品
- ・乾物(海苔、春雨等)
- ・飲料(ジュース等)
- ・レトルト食品
- ・粉ミルク・ベビーフード



注意していただきたい点

- ・賞味期限が記載されている
- ・賞味期限が1か月以上ある
- ・未開封の物

回収場所：玖珠町ボランティア連絡会事務局
(玖珠町社会福祉協議会内)

お問合せ：72-5513

8月10日、大分県社協主催の福祉ボランティアリーダー研修会に、会員3名が参加してきました。災害時の避難所体験で、まず段ボールとアルミ箔やラップ等身近にある物を工夫してまな板、お皿等調理器具を作り、次にスナック菓子のじゃがりこのカップ半分までお湯を注ぎ、お菓子がふやける間にきゅうりとソーセージを切り、具材を混ぜてマヨネーズで味を整えポテトサラダの完成。(避難所ではマヨネーズ等を使う時は、アレルギーに気を付けて)

そうめん団子は乾麺のそうめんをビニール袋に入れて水を注ぎ約20分程で袋内の水を捨て、そうめんを袋のまま揉んで柔らかくなったら、団子を作り茹でてきな粉と砂糖で味付けをしました。

果物缶詰、三ツ矢サイダー、駄菓子のラムネとゼリーを混ぜるだけでフルーツポンチも出来上がりました。



(令和3年6月22日
〜8月23日)

香典返し

灰原	柳井田正八様
駅東	穴本俊則様
鎗水	梅木東海様
矢園	武石政子様
山浦早水	豊田弘子様
田代	水野好典様
森栄町	帆足浩一様
倉ヶ峠	長尾義春様
中央町	石井文代様
森栄町1	村口和好様
大隈住宅	小川貴彦様
森小場	須野幸様
道の迫	井上大一様
中の原	佐藤俊子様
山田早水	長野晴雄様
中島	麻生多賀司様
帆足本村	井上光江様
長野中	穴見健児様
四日市	羽野徳文様

寄付金

匿名 1件

物品寄付

鎗水 梅木 東海 様

ご本人ご家族の了承を得て掲載しています

折り紙で応援

折り紙わらべクラブの皆さんが、玖珠町から少しでも応援出来たと、東

京オリンピック・パラリンピックの成功を祈念して、五輪マークとシンボルマークを折り紙約2千枚で作成しました。



お知らせ

コロナ感染防止対策として、今年もチャリティーバザーは中止させていただきます。

物品の寄附や購入にご協力をいただいております皆様、ご理解の程お願い申し上げます。

一期一会 「心を寄せて」

社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会

会長 小田原 利美

「こんにちは」「食事はどうですか」「朝夕寒くなるから身体に気を付けてくださいね」とご利用者に声を掛けながら、時折デイサービス現場を覗く。ご利用者は、午前中主に入浴(温泉)を楽しみ、午後からはラジオ体操、転倒予防体操、歌やゲーム等、いろいろな課題に挑戦しながら一時を過ごす。

誕生会やクリスマス会では、職員が考えた寸劇等にも加えてもらい、ご利用者との距離が少し近づいた気がする。

ある時、一人のご利用者さん(当時八十八歳)に「デイサービスどうですか?」と聞いてみた。すると「デイサービスは有り難い」「ここがなかったら何が楽しみだろうかねえ」「人の出逢いは、お金じゃ買えないもんね」と。有り難い言葉を頂く。

高齢になるとなかなか外出もままならず、ましてコロナ禍の中、友達とも会う機会が減り、「人の出逢いはお金じゃ買えない」の言葉から、人との出逢いや会話を楽しみ、デイサービスを利用されていることに嬉しさを覚えた。

さて、デイサービス室の南側には、二坪程の小さな菜園がある。ご利用者と職員が相談しながら、毎年夏野菜(トマト等)を育てている。今年も、私も少しばかり関わり、五月初めにイチゴ(十株)と小玉スイカ(四株)も植えた。イチゴはプランターの代わりに肥料袋を活用し、スイカは蔓が伸び始めたら棚にのぼらせた。握りこぶし大に成長したスイカにはネットを掛け、「ワラを持って来てスイカの根元に敷こうか」「スイカは落ちないか」等とご利用者は孫を見守るように気にかけてきた。七月末に大小八個を収穫し、量は少ないながら、思いの詰まったスイカを皆で美味しくいただいた。イチゴを育てているときに、ご利用者から「孫に食べさせたいからランナーが欲しい」と聞き、盆前にイチゴ苗十株程を届けた。真っ赤なイチゴをお孫さんが食べている姿を見ながら微笑んでいるご利用者の笑顔を想像しながら、日常生活に制約が多い昨今、高齢者も悩みや相談があれば、一つでもその思いに心を寄せて、お手伝いできればと感じている。



10月・11月のスケジュール

日	月	火	水	木	金	土
9 / 26	27 ■老人福祉センター 休館日	28 ■障害年金無料相談会 (要予約) ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・山浦線) ■男性ふれあい広場 (老人福祉センター)	29 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線)	30 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	10 / 1 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・山浦線)	2 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
3	4 ■老人福祉センター 休館日	5 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・山浦線) ■給食サービス	6 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	7 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	8 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	9 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
10	11 ■老人福祉センター 休館日	12 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・山浦線)	13 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	14 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	15 ■給食サービス ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	16 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
17	18 ■老人福祉センター 休館日	19 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・山浦線)	20 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 ■法律相談会 (要予約) (ともに老人福祉センター)	21 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	22 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	23 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
24	25 ■老人福祉センター 休館日 ■給食サービス	26 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・山浦線) ■男性ふれあい広場 (老人福祉センター)	27 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	28 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	29 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	30 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
31	11 / 1 ■老人福祉センター 休館日	2 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・山浦線)	3 (文化の日) ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線)	4 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	5 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・山浦線) ■給食サービス	6 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
7	8 ■老人福祉センター 休館日	9 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・山浦線)	10 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	11 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	12 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	13 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
14	15 ■老人福祉センター 休館日 ■給食サービス	16 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・山浦線) ■男性ふれあい広場 (老人福祉センター)	17 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	18 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	19 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	20 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
21	22 ■老人福祉センター 休館日	23 (勤労感謝の日) ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・山浦線)	24 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	25 ■ふれあい福祉バス (小野原線) ■給食サービス	26 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	27 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
28	29 ■老人福祉センター 休館日	30 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・山浦線) ■障害年金無料相談会 (要予約)	12 / 1 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	2 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	3 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	4 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)

編集後記



日々、過去最多を更新される新型コロナウイルス感染者、重症者数、爆発的な感染拡大が続く、緊急事態宣言の対象地域も拡大され、二コースでは連日必要な方が適切な医療を受けられない厳しい医療体制が伝えられています。この目に見えないウイルスと日々戦い続ける医療従事者の皆様には本当に頭が下がります。

今の自分には何ができるのか。マスクの着用、うがい手洗い、消毒の徹底、3つの密の回避等、一人ひとりが改めて感染防止対策を徹底し、一日でも早く今までのような生活に戻れる事を祈るばかりです。(丁)

